



JARA NEWS

October 2018, No. 128

from
Japan Automotive Recyclers Alliance
www.jara.co.jp

Published by JARA Corporation
Tokyo Head Office: 1 F. Yaesu KT Bldg. 1-1-8,
Yaesu, Chuo-ku, Tokyo JAPAN 103-0028
Phone: +81 3 3548 3010 / Fax: +81 3 3231 4690



自動車リサイクルに関するさまざまな業務を保証



在庫部品や設備の被害なども保証の対象

JARA、会員保証拡充

11月から運用

JARA（北島宗尚社長、東京都中央区）は、会員を対象に事業上のリスクを総合的に補償する「JARA総合保証制度」を創設、11月から運用を開始する。JARAが会員を対象に提供している基本保証制度をベースに、補償内容と保険金支払い金額を拡充。豊田通商グループのスケールメリットを生かした保険商品で、保険料は会員が単独で契約するよりも半分から3分の1に抑えることができる。設備の被害や盗難、雇用関連など幅広く補償する自動車リサイクル業界初の保険商品を提供することで、会員の事業支援に結びつける。

◆支払限度額、物損害で5億円

JARAは、これまでも会員を対象に「JARAブランド」のリサイクル部品の製造と販売に関わる基本補償（支払い限度額3千万円）制度を構築。JARAの全額保険料負担で会員に提供し、運用している。

新たに運用を開始するJARA総合保証制度は、基本補償に上乗せする形で「賠償責任補償」と「物損害補償」まで補償範囲を拡大する。支払い限度額は賠償責任補償で1億円、物損害補償は5億円まで増やしている。賠償責任補償は「製造物危険」「施

設危険・業務遂行危険」「受託物危険」を保証する。オプション補償として「雇用慣行賠償責任保険」と「サイバー保険」も用意した。近年増えている自然災害に対する補償対応は、台風や竜巻、記録的豪雨などの水害は補償の対象とする。一方、地震や噴火、津波の被害は補償の対象から除いている。

JARAの会員の中には、自動車リサイクルのほか、建築廃材や貴金属など総合リサイクル事業を手がける会員もいる。総合保証制度では、会員の希望で補償対象を自動車事業のみか全ての事業かを選択することができる。

具体的な補償内容は、納品した部品の不具合に起因する事故に伴う損害、水害による設備と仕器の損傷や台風などによる商品の損害、盗難など多岐に渡る分野を設定した。オプション補償では、従業員に雇用に関連するリスクやパソコンサーバーのハッキングによるサイバー攻撃のリスクを補償する。JARAが全国で開催した説明会では、リサイクル事業者が業務上で起こりえる事例について、複数の質問が寄せられている。主なものとして、使用済み自動車の引き取りに関して、トラックや車両積載車に事故車を積載して運搬中、事故車から外れた部品が落下して後続車を損傷させた際の補償は、自動車保険の対象となる。一方、過去に納品した部品が原因で、保険加入後に損害が発生した場合は、総合保証の賠償責任補償（製造物危険）が適用され、補償対象となる。また、外壁を備えていないが基礎と柱と屋根がある建物内の収容動産の被害は、物損害補償の対象とする。

現在、会員からの加入申し込みを受け付けており、11月に制度の運用をスタートする。今年は、大規模な地震や台風、記録的な豪雨や豪雪と自然災害が多発している。また、リサイクル事業者のなかには、貴金属が含まれる触媒の盗難被害にあうな

ど、事業上のリスクが多く存在する。

◆働きやすい環境提供するために

北島社長は「リスクを減らすことで、対外的にJARA会員の評価も上がる。働きやすい環境を提供でき、ES（従業員満足）が向上する」と語る。総合保証制度の提供を機に「今後もJARAオリジナル商品を会員と関係会社と作っていきたい」と話している。

（日刊自動車新聞9月20日）

JARA全国5カ所で地区会を開催

JARAは、8月から9月にかけて全国5カ所で「2018年度JARA地区会」を開催した。リサイクル部品流通システムの「ATRS（Automobile Total Recycle System）」のシステム勉強会と「JARA総合保証制度」の説明会を実施し、出席者は理解を深めた。

地区会は、名古屋・岡山・熊本・東京・仙台の順で開催。札幌でも9月に開催を予定していたが、北海道胆振東部地震の発生で10月に延期している。各会場の地区会には、JARA会員の代表者や実務責任者が出席した。JARAの担当者は、ATRSの機能をさらに活用するための操作説明など作業効率を高める具体例を説明した。JARA総合保証制度の説明では、保険会社の担当者がさまざまな事業リスクに対応できる補償内容について解説した。

8日に仙台市で開催された地区会で挨拶したJARAグループの土門志吉会長は「災害が多く発生するなか、自社の保険と比較してメリットを理解して、総合保証制度を利用していただきたい」と述べた。

（日刊自動車新聞9月20日）

10/9より(株)JARA本社が下記に移転致しました。

今後とも何卒宜しくお願いたします。

新住所：〒103-0028

東京都中央区八重洲1-1-8 八重洲KTビル1F

■TEL：03-3548-3010（変更なし）

■FAX：03-3231-4690（変更なし）





自動車リサイクルは国内循環が基本だ

増加続ける中古HV輸出、リサイクルに影響

増え続けるハイブリッド車（HV）の中古車輸出が国内循環を基本とする自動車リサイクルに影響を及ぼす可能性が出てきた。2017年度の中古HVの輸出台数は前年度比25・0%増の11万8875台と初めて10万台を突破。一方で使用済み自動車（ELV）として処理した台数は約2万5千台と5分の1にとどまり、新車販売台数に照らし合わせても少なさが浮き彫りになった。「本来は国内で廃車処理されるべき車両も海外に流出している」と

の声もある。

中古HVの輸出は右肩上がりだ。08年度は3417台だったが、17年度は約35倍の11万8875台に拡大。17年度の総輸出台数に占める割合は前年度から1・2ポイント増え8・3%となった。財務省の貿易統計によると、モンゴルやスリランカ、パキスタン、ロシアなどへ多くの中古HVが輸出されている。環境対策の一環としてHVを優遇している国が多い。

一方、ELVとして引き取られたHVは17年度で2万2487台。総引取台数に占める割合は0・68%と1%を切る水準だ。同年度の新車販売台数は約520万台（うちHVは約110万台）。ELV引取台数は約330万台で、HVのELV発生比率がいかに低いかがわかる。

初代プリウスが1997年に登場して20年が経過し、ELVの発生台数は徐々に増えていくことは間違いない。ただ、それ以上に輸出が伸び続けている実態を踏まえ、国内における駆動用バッテリーなどのリサイクル事業への影響も懸念される。

（日刊自動車新聞9月19日）

猛暑で電装品リサイクル部品需要が増加 過去最高の問い合わせ数

猛暑となった今夏は車両故障が増え、エアコンのコンプレッサーやオルタネーター、スターターのリサイクル（リユース・リビルト）部品の販売数が急増した。部品によっては在庫が底をついたものも発生したという。

リサイクル部品事業者の会合の席で、出席者から「電装品は過去最高の問い合わせ数だった」との声が相次いだ。連日の猛暑で エンジルーム内の温度が上がる中、エアコンをフル稼働させる



新品と同様の品質を確保するリビルト部品

などしてコンプレッサーや電装品の負荷が増えたためと見られる。リサイクル部品の販売を手がける富士金属興業ドラゴンパーツは「7月の部品販売点数と売り上げは、6月より約4割増えた」と話す。リビルト部品メーカーの信越電装も「事前の需要予測を上回った」という。リビルト部品メーカーは通常、在庫を多めに確保して夏場の需要期に備えるが「バックオーダーを抱えた部品もある」（信越電装）というように、想定を上回る注文が殺到したようだ。

リサイクル部品業界は、経済性だけでなく、LCA（ライフサイクルアセスメント）の観点から二酸化炭素（CO2）削減効果を数値化してユーザーや整備工場などにリサイクル部品をPRしている。とはいえ、ユーザーのリサイクル部品に対する認知度は未だに低いのが現状だ。業界として

は、猛暑で問い合わせが増えたことも追い風に、リサイクル部品の認知度を高めていきたいところだ。

（日刊自動車新聞9月18日）

ナンバー自動読取装置、初の街頭検査で成果 国交省今秋に全国導入

国土交通省は14日に千葉県神崎町で、車検切れ車両を検出する「可搬式ナンバー自動読取装置」を使った街頭検査を実施した。同装置の本格運用は今回が全国初。2時間の検査時間中に746台の通過車両をチェックした結果、登録情報に異常がある2台を捕捉し、うち1台が車検切れだった。国交省では「検査と捕捉で好実績が挙がった」と評価しており、今秋には夜間や防水の性能を向上した新タイプの装置を10台導入して全国で運用を始める。国交省ではこうした取り組みを通じて、無車検運行車両の撲滅に向けて対策を強化する考えだ。

可搬式ナンバー自動読取装置は、通行車両のナンバープレートを読み取るカメラと、プレート記載の情報と登録情報を照合するパソコンからなる。パソコン内には約516万台の車検切れ車の情報を収録しており、瞬時に無車検車を判別できる。無車検と判断した車両は数十メートル先で警察官が停止させて検査エリアに誘導。検査エリアでは国交省の職員が車検証を確認して、車検切れを確認した場合には指導を行い、警告書を交付する。同時に車検切れ車の運行は道路交通法にも抵触するため、警察が違反として検挙する。

14日の検査は、国道356号沿いにある「道の駅発酵の里こうざき」で実施した。捕捉した2台のうち1台は車検切れだったため、直ちに警告書を交付した。もう1台は未登録車両に他の車両のプレートを着装していたため、警察に引き渡した。

現地取材に応じた国交省の秋本真利大臣政務官は「この装置は小さくて可搬式。実施場所を特定しづらく、車検切れ車両の撲滅に向けた抑止効果が期待される」と満足感を示した。

今回の街頭検査では、整備不良車のチェックも同時に実施した。9台を検査し、差し枠を付けたダンプカーなど5台に整備命令を発令した。

（日刊自動車新聞9月18日）



ナンバー自動読取装置を使った街頭検査

CO2削減数値(SPLシステム)

リユースパーツ使用によるCO2削減効果
参考値 平成30年08月

2,938t

※一般、中・大型合む車を修理する際、新品部品を使用して修理する場合に出るCO2排出量とリサイクル部品を使用して修理する場合のCO2排出量の差がCO2削減数値になります。

一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会と早稲田大学環境総合研究センターがLCA（ライフ・サイクル・アセスメント）の考え方にに基づき共同開発した「グリーンポイントシステム」より参照。
了「Green Point System」。

Asian Automotive Environmental Forum

11th in India

From Wed. 31st October to Fri. 2nd November 2018



Conference theme:

**AUTOMOTIVE RECYCLING IN INDIA
PATHWAY TO THE FUTURE
– TOWARD SUSTAINABLE SOCIETY –**

Holiday Inn New Delhi International Airport

Registration Fee : US\$200 per person

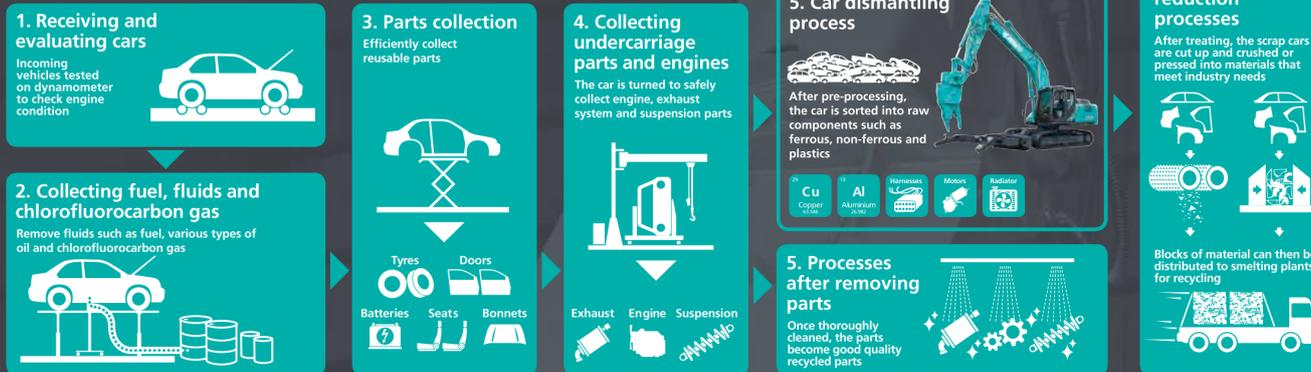


Contact : jara@npo-jara.org(Japan Automotive Recyclers Association)



Dismantling process flow chart

How the Car Dismantling machine works



The Evolution of car dismantling industry by Kobelco

Four times* the vehicle dismantling capability compared with hand dismantling.

* In one day (Kobelco test figures)

15 vehicles >
One operative working by hand.

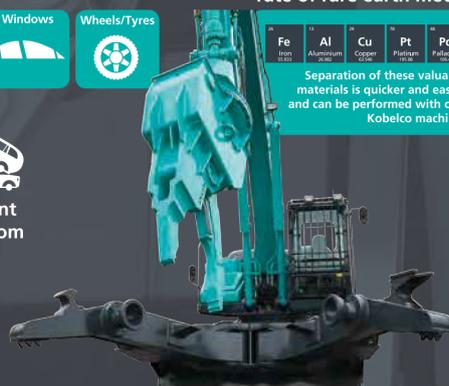
60 vehicles >
One operative in a Kobelco Car Dismantling machine.



Improved recovery rate of rare earth metals

Fe Iron	Al Aluminum	Cu Copper	Pt Platinum	Pd Palladium
------------	----------------	--------------	----------------	-----------------

Separation of these valuable materials is quicker and easier and can be performed with one Kobelco machine.



コベルコ建機株式会社 www.kobelco-kenki.co.jp/	For Japan	成都神鋼工程机械(集团)有限公司 www.kobelco-jianji.com/	For China
(주)삼정건설기계 www.samjung-kenki.co.kr/	For Korea	KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY U.S.A. INC. www.kobelco-usa.com/	For North America
KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY AUSTRALIA PTY LTD www.kobelco.com.au/	For Australia	KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY EUROPE B.V. www.kobelco-europe.com/	For Europe
FAIR FRIEND ENTERPRISE CO.,LTD. www.ffg-tw.com/	For Taiwan		